

### 広島県高齢者健康福祉大学校20期同期会

広島県高齢者健康福祉大学校20期同期会は健康福祉大学校(以下「健福大」という)最後の卒業生の会です。

今年で卒業して5周年となります。会としてのボランティア活動は「健福大同窓会」の行事やボランティア情報センターからのボランティア募集の情報を元に、会員に呼びかけ参加することです。これからも、会員への参加の呼びかけを継続し活動していきます。会独自のボランティア活動としては、毎年「神田山やすらぎ園」で、車いす清掃活動を実施しています。この活動は、年2回活動し、今後も継続して実施していきます。



多くの会員は、現在、健福大で学んだことを生かし、地域、団体に様々な活動を積極的に行っており 勉強の場として楽しんでいます。その会員の活動等を紹介、情報共有のため、四半期毎に同期会新聞を発行しています。



#### お問い合わせ

広島市ボランティア情報センター  
TEL:(082)544-3399  
FAX:(082)544-3404

### 市民福祉ネットワーク“ひろしま”の加入団体紹介

#### 特定非営利活動法人 心の絆ネットワーク

##### 活動内容

住み慣れた地域で生活を続けていくための相互扶助の会員組織です。具体的には、後見人の受託、市民後見人の養成、生活支援サポーターの要請、各種研修会を行っています。後見人の受託に関しては、専門職後見人と市民後見人がペアで活動し、生活まわりは原則、市民後見人が担当しています。

##### 対象地域

広島県内

##### 対象者

- ・各地域で高齢者の方々をサポートしていこうとしている方
- ・サポートが必要とされている方



## 平成26年8月20日の豪雨災害での活動を記録にしました

発災直後から現在まで、県内外の皆様からいただいたたくさんのご支援や温かい応援の言葉に何度も何度も励まされました。被災地とともに災害ボランティアセンターを支えてくださった全ての方への感謝の気持ちとともに、復旧から復興までの動きや現在の取り組みについて報告させていただきたい、この災害で経験したことを記録に残すことで今後の災害対応に役立てることができれば・・・という思いで報告書を作成しました。報告書をご希望の方にはできるだけお届けしたいと思いますので、事務局までお問い合わせください。



### 編集後記

いつもボランティア情報センターNEWSをご覧ください、ありがとうございます。

今号では、模様替えをした広島市社会福祉センター3階の市民福祉サロンをみなさんに紹介させていただきました。

また、34号に引き続いて安佐南区及び安佐北区復興連携センターの取り組みの報告をさせていただきます。

そして、今後の広島市内のボランティア活動の活性化に向けて、ボランティア相談窓口機関のつながりづくりやボランティアグループ連絡会代表者の情報交換会なども紹介させていただきました。

日ごろから地域の方やボランティアさんとの関係性を作っておく大切さを、平成26年8月20日の豪雨災害以降、より強く感じています。

みなさんも、身近にちょっとした悩みごとや楽しかったことを話せる人を増やしていきましょう♪

広島市社会福祉センター3階にある図書閲覧コーナーもリニューアルしていますので、ぜひお立ち寄りください。

最後に、地域のみなさまやボランティアさん、いつも明るい笑顔と元気をいただき、ありがとうございます！！

# 広島市ボランティア情報センター NEWS

No.35  
2016年4月発行



ふれあいネットワーク 〒730-0052 広島市中区千田町一丁目9番43号  
 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 広島市社会福祉センター内 ボランティア情報センター TEL(082)544-3399  
 E-mail:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp FAX(082)544-3404  
 URL <http://shakyo-hiroshima.jp/>

## ボランティアサロン室と社会福祉情報センターを模様替えしました~♪



広島市社会福祉センター3階には、ボランティア募集や各区社会福祉協議会の広報紙、助成金の情報などのチラシがある市民福祉サロン室、そして、社会福祉に関する月刊誌や図書・資料が閲覧できる社会福祉情報センターがあります!!

この度、みなさんに部屋を利用いただきやすいよう、そして情報が一目見てわかりやすいよう掲示方法を工夫し、新たに閲覧コーナーも設けました。

また、社会福祉情報センターの図書も新刊を取り揃え、充実させていきますので、ぜひ、お気軽にお越しください。みなさんのご来所を楽しみにしています♪



### 新着図書のご案内

『改正介護保険における「新しい地域支援事業」の生活支援コーディネーター<地域支え合い推進員>と協議体』

高橋 誠一・大阪 純・志水 田鶴子 編  
2015年4月の介護保険制度の改正の中でも「新しい地域支援事業」に焦点を当て、よりよく地域で運用するための考え方と取り組みをわかりやすく紹介



『「見守り活動」から「見守られ活動」へ~住民暦書とエゴマップのすすめ~』

酒井 保 著  
地域の支え合いを活かす手法として「住民暦書とエゴマップづくり」を提案イラストや事例も交えてわかりやすく解説



『市民がつくる地域福祉のすすめ方』

酒井 保 著  
社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会 編  
住民主体の協議体、地域福祉の運動体、在宅福祉の事業体づくりとそのマネジメントが分かる!オーソドックスな方法論の積み上げから生まれた「住民主体」の地域福祉実践を丸ごと紹介





# 地域の支え合いの仕組みづくりを 考えるきっかけに

～介護保険制度改正の  
学習会開催～

～主催：市民福祉ネットワーク“ひろしま”～



市民福祉ネットワーク“ひろしま”企画の介護保険制度改正に関する学習会を1月27日(水)に開催しました。

学習会の内容を介護保険制度改正とした理由は、既存の制度やサービスで対応できない生活課題に対し、地域でどのように支えていくかを考えるきっかけにしたいとの声が、市民福祉ネットワークの会員から上がったためです。

学習会には、地域のみなさんやボランティア団体、地域包括支援センターの職員の方など、64名の参加があり、地域の方や団体の関心も非常に高いと感じました。

講師には、一般社団法人日本ケアマネジメント学会副理事長の服部万里子さんをお招きし、介護保険制度の改正のポイントなどを詳しく説明していただきました。

地域で支え合うためには、新しい担い手をどう作り、どのように活動につないでいくかを、みんなで考えるのが一番大切であることがわかりました。

参加者からは、「身近な問題として役立ちました。」「地域での見守りや支え合いが重要」「自助・共助が大切だと感じました。」などの感想をいただきました。

今後は、なぜ地域での助け合いが必要なの

か、自分たちにできる支援は何なのかをテーマに勉強会などを重ねていき、支え合いの仕組みづくりを考えていきたいと思ひます。



市民福祉ネットワーク  
“ひろしま”とは??

住民参加型在宅福祉サービスは、「誰もが、いつまでも住み慣れた地域で生活できるように、お互いに支え合っていこう」という趣旨で行われている活動です。

市民福祉ネットワーク“ひろしま”は、「共生できる21世紀」を目的とした、広島市域に活動拠点を置く住民参加型在宅福祉サービス団体や福祉分野のNPO法人が加入するネットワーク団体です。

## 市内ボランティア 相談窓口情報交換会の 取り組み

広島市には、ボランティア活動相談の窓口として、主に4つの機関(下表参照)があります。ボランティアに関する相談の内容によって、担当する機関が異なります。

4つの機関に分かれていることにより、各団体が得意分野で専門性を活かしてボランティア活動を推進していくというメリットがあります。

しかし、最近では地域課題が多様化し、それに対応するボランティア活動も多岐にわたり、複数分野に属する活動もあります。

そのため、ボランティア相談窓口である関係機関の連携を密にし、地域のボランティア活動を推進していく必要があります。今後は、継続して4者で情報交換を行い、各機関の活動を紹介するパンフレットの作成、イベントによるボランティア活動の啓発など、広島市内で一層ボランティア活動が活性化していく取り組みを企画していきたいと思ひます。



分野	福祉に関する分野	まちづくりに関する分野	国際交流や平和学習に関する分野	NPOの活動に関する分野
団体名	広島市社会福祉協議会 8区の社会福祉協議会	広島市文化財団 まちづくり市民交流プラザ	広島平和文化センター 国際交流・協力課	ひろしまNPOセンター

～普段から顔の見える関係づくり～

安佐北区  
災害研修会

## 災害に備える、支え合いの地域づくり

2月21日(日)、安佐北区復興連携センターが「災害後の地域づくりの取り組み」をテーマにした研修会を開催しました。被災から1年と半年。地区社協、自治会・町内会、自主防災会、ボランティアなど住民96人の参加がありました。

富山県のNPO法人「明日育」常務理事の長井一浩さんから「災害に備える 支え合える地域づくり」をテーマに「地域の防災力を高めるためのコミュニケーションの大切さ」などについての講演がありました。

“地域の人材バンクシートが防災だけでなくまちづくりにも役立つこと”、“既存の仕組みにとらわれずそれぞれの役割を再構築することが大切であること”、“地域のリーダーはひとりじゃなくていい”、など今後の地域づくりに活かせるお話ばかりでした。

また、災害ボランティアセンターと復興連携センターのこれまでの活動場面の写真や映像をスライドショーで振り返りながら現在までの活動報告が行われました。



## あさみなみ災害ボランティアセンター写真展

～安佐南区に集まったやさしさの記録～

安佐南区復興連携センターでは、災害ボランティアセンターでの経験やみなさんの活躍をもっと多くの方に知っていただき、地域防災に活かしてもらいたい!との思いから、3月5日・6日の2日間にわたって写真展を開催し、2日間で224人の方にお越しいただきました。

写真展の会場では当時の災害ボランティアセンターの各班の流れに沿って写真が展示され、写真を見ながら「当時を思い出すね」「ここに写ってる！」



とあちこちで再会を懐かしみ、話に花が咲く光景が見られました。みなさんからは「きれいに展示されていてとてもわかりやすいね」ととても好評でした。

同時開催された“ボランティアありがとうミーティング”では、初めに、災害ボランティアセンターから現在の復興連携センターまでの活動報告があり、その後、被災地の方をはじめ、写真展のために県外から駆けつけてくださったボランティアさんが当時を振り返りながらお話していただきました。



## 感謝。そしてこれからも…。

安佐南区および安佐北区災害ボランティアセンターには、延べ4万人以上のボランティアさんが集い、運営には町内会や自治会、企業や施設の方など多くの方々のご協力をいただき、被災地の復旧に大きな力を与えていただきました。

改めて、支えられ応援していただいたことに感謝するとともに、これからも被災した地域や被災された方のために活動を続けていきたいと思ひます。